

◎ 自治体法務（解釈・運用）

目 標 政策法務の基礎的な考え方を理解し、事例を通じて実務に活かせる基礎力を身につける。

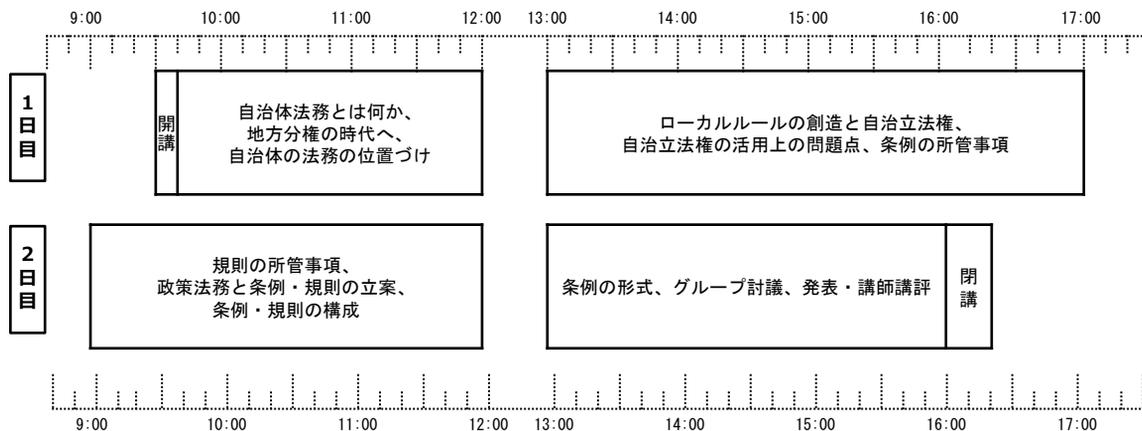
ポイント 講義と事例研究、グループワークを通して、条例立案の基礎知識を学ぶ。

対 象 係長（同相当職）、25歳以上の一般係員

定 員 各回15名（他道職員15名）
全2回（※道職員との合同研修）

日 程 2日間
① 9月14日（月）～ 9月15日（火）道庁別館9階 第2研修室
② 11月18日（水）～ 11月19日（木）道庁別館9階 第1研修室

標準日程



講 師 九州大学大学院法学研究院 教授 田中孝男

受講者の声

・講義の内容に即して判例、時事及び公務員時代の経験談のお話もしていただき、内容がとても理解しやすかった。時事ネタ等も交えつつの事例説明がわかりやすかった。

・大枠の基礎知識の説明から入り、詳細の内容へという形で説明だったため、大変理解しやすかった。事案ごとのケース（実例）をあげた説明が、内容をイメージしやすかった。

・手法だけでなく、どのような視点で条例を立案・評価するべきなのかを細かく解説いただけた。また、各政策手段のメリットやデメリットを具体的な事例と合わせて学ぶことができた。